

河川室だより

ー大阪府都市整備部河川室長よりご挨拶ー

大阪府砂防ボランティア協会におかれましては、長きにわたる継続的な取組みに敬意を表しますとともに、土砂災害危険箇所や対策施設の点検調査、府民への防災の周知など、大阪府の土砂災害対策へのご支援、ご協力を頂きましたことに深く感謝を申し上げます。

大阪府では、土砂災害から人命を守ることを最優先に、土砂災害防止法に基づく区域指定によるリスク周知を基軸に、「逃げる」「凌ぐ」「防ぐ」の各施策を組み合わせ、総合的かつ効果的な対策を進めています。

近年、府内では大規模な土砂災害は発生していないこともあり、危険な場所にお住まいの方々の防災意識の低下が危惧されております。

そのような中、「逃げる」施策として避難の実効性を高める取り組みを進めていくことが重要です。

去る5月8日に、新型コロナウイルス感染症が2類相当から季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられ、地域の様々な取り組みも進めていける状況となってきました。住民の方々が適切な避難行動がとれるよう、コミュニティタイムラインのワークショップへの参画や土砂災害危険箇所の調査など貴協会による支援活動を、今後も引き続き、お願い申し上げます。

2025年には大阪・関西万博が開催されます。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」となっており、「不易流行」として変えるべきものは変えなければなりません。一方で、諸先輩方が培われた様々な技術など変えるべきでないものはそれを心してしっかりと受け継ぎ、次世代の人材育成に繋ぎ、災害対応力の強化に取り組んでまいります。

最後になりましたが、大阪府砂防ボランティア協会の皆様のご情熱とご努力により、今後、益々ご発展・ご活躍されるようお祈り申し上げます。



大阪府河川室長
小池 重一

特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒540-0033 大阪市中央区石町2-5-8 日宝中之島ビル4F

TEL/FAX 06-6809-7122

E-mail: osakasabovo@gmail.com

(ID) osakasabovo@tea.ocn.ne.jp

http://o-sabovo.sakura.ne.jp/

—砂防ボランティア会員 募集中!—

年齢、性別、経験（砂防に関する知識等）は問いません。

＜当協会の構成＞

正会員 71名

斜面判定士 50名

賛助会員

個人 3名

法人 14社

（令和5年7月現在）

●●●●●●●●●●当協会を支援していただいている法人賛助会員（アルファベット順）●●●●●●●●●●

（株）浅沼組、（株）エヌイーエス、（株）奥村組、共和コンクリート工業（株）、協和設計（株）

（株）CPC、（株）セリオス、戸田建設（株）、（株）浪速技研コンサルタント

（株）日本インシーク、日本国土開発（株）、（株）ニュージェック、（株）八州、復建調査設計（株）

●●●●●●●●●●当協会に寄付をしていただいている法人（アルファベット順）●●●●●●●●●●

大日本土木（株）、東亜グラウト工業（株）、飛島建設（株）



砂防ボランティア通信

特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

理事長あいさつ

令和5年度通常総会を開催

この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査

研修会・講演

令和5年度主な事業予定

新入会員特別寄稿

河川室だより（大阪府）

☆ 理事長あいさつ

大江 徹

会員の皆様には、土砂災害の防止のための調査、啓発など当協会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

令和5年度総会を5月30日（火）に開催しました。会員各位のご理解、ご協力を得て各議案について、ご質問等活発なご審議の上、承認をいただきました。ありがとうございました。また、松枝俊明河川環境課長を初め大阪府の砂防関係職員の方々をお招きし、最近の砂防施策についてご講演をしていただきました。重ねてお礼申し上げます。

昨年度の当協会活動につきましては、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、土砂災害危険箇所パトロール等への協力や現地研修会の実施を再開しました。今年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行したのに伴い、新たな健康習慣を心掛けながら、活動をさらに積極的に展開していきたいと考えております。

会員の皆様には、当協会の運営に引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和5年度総会であいさつする 大江 徹 理事長
（左奥が、松枝大阪府河川室河川環境課長）

☆ 令和5年度通常総会を開催

令和5年度総会は、5月30日（火）道頓堀ホテルにおいて開催しました。

総会出席者総数は、委任状提出22名を含めて42名、正会員3分の1以上の定足数を満たして総会は成立、出席者全員が議案書に賛成し、令和4年度事業報告・決算報告及び令和5年度事業計画・予算の各議案について了承されました。

令和5年度執行体制

理事長	大江 徹
副理事長	塚本 雅夫 河野 敬太郎
理事	吉村 滋（事務局長） 服部 登（総務） 東郷 茂（財務） 九野 康司（企画・広報） 高城 俊介（地域調整・事業調整）
監事	秋山 敬 木寺 由男
ブロック長	（池田）田中 義宏（茨木）東郷 茂（枚方）服部 登 （八尾）大澤 美浩（富田林）若井 健（鳳）中村 充信（岸和田）高城 俊介

☆ この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査

土砂災害危険箇所等の点検調査・コミュニティタイムラインの作成

土砂災害防止のため行う土砂災害危険箇所パトロールについては、大阪府からの要請で、令和4年6月1～10日に7土木事務所管内で、土砂災害防止月間の行事として行いました。（12名参加）

また、11月16日に枚方土木事務所管内で、地元の要請を受けての急傾斜地1箇所の現地調査を行った外（3名参加）、令和5年2月1日には協会独自による斜面地調査を鳳土木事務所管内で行いました（4名参加）。

11月5日には富田林土木事務所管内で、河内長野市におけるコミュニティタイムラインの作成に参加しました。（1名参加）



土砂災害危険箇所調査
八尾土木事務所管内



急傾斜地調査
枚方土木事務所管内



斜面地調査
鳳土木事務所管内

研 修 会 ・ 講 演

1. 現地研修会ー赤木正雄展示館と兵庫県職員による設計OJT（砂防堰堤概略設計研修）の見学ー
令和4年11月30日兵庫県豊岡市で現地研修会を行いました。赤木正雄展示館において、日本砂防の父赤木正雄氏の功績と砂防の役割について学びました。また、兵庫県職員による設計OJT（砂防堰堤概略設計研修）を見学しました。（会員16名、大阪府6名、賛助法人会員2名、合計24名参加）

2. 講演

令和5年1月27日にエル・おおさかで、大阪府河川協会、大阪府砂防協会、大阪府砂防ボランティア協会合同による水害・土砂災害に関する防災講演会を開催しました。（93名（内 当協会会員は27名）参加）

令和5年2月3日に滋賀県庁での、近畿2府4県の砂防ボランティア協会持ち回り開催による土砂災害に関する講習会に参加しました。（約200名（内 当協会会員は 22名）参加）



現地研修会（赤木正雄展示館）



3協会合同防災講演会（エル・おおさか）

☆ 令和5年度主な事業予定

- ・11月 水害・土砂災害に関する防災講演会（大阪府砂防協会・河川協会と共同開催）
- ・11月 現地研修会
- ・2月 土砂災害に関する講習会 近畿7県（2府4県）砂防ボランティア協会合同開催(京都府)

☆ 特別寄稿

令和5年度新入会員2人の方に、砂防に関するご経験等を寄稿していただきました。

『砂防は素人です』

中村 充信

今年3月末に大阪府を定年退職し、大阪府砂防ボランティア協会に入会させていただきました中村充信です。4月からは株式会社パスコ大阪第一支店に勤務させていただいています。

昭和61年4月に大阪府庁に入り、37年間、港湾局19年、大阪湾広域臨海環境整備センター5年、関西国際空港用地造成株式会社3年、環境農林水産部3年、南部流域下水道事務所3年、企業局2年、忠岡町役場2年と、主に海関係の仕事を経験させていただきましたので、残念ながら砂防事業を直に経験する機会はありませんでした。

唯一、「砂防」に触れたのが、平成7・8年に企業局内陸整備部宅地整備課で、水と緑の健康都市（箕面森町）事業に携わった時です。水と緑の健康都市開発推進室には服部主査（現理事）と同時に配属され、服部主査が担当されていた砂防法協議に関する業務を横の席から見ていたと思いますが、もう25年以上前のことなどで残念ながら詳しい内容は覚えていません。

大阪府砂防ボランティア協会では、現地研修会や土砂災害に関する講習会があると聞いていますので、それらに参加して勉強させていただき、今後の活動に活かしていきたいと思います。皆様、これからよろしくお願いします。

『私と砂防事業』

堀内 孝治

今年度から大阪府砂防ボランティア協会に入会させていただいた堀内と申します。よろしくお願いします

私が初めて「砂防事業」に従事したのは、約20年前に茨木土木で砂防班長をしていた3年間でした。当時茨木土木では、檜尾川砂防堰堤、原地区の急傾斜対策、原地区の地すべり等、様々な事業を実施しており、初めて砂防事業に関わる私にとっては大変刺激的な毎日だったことを覚えています。

中でも特に印象深かったのは、会計検査対策でした。

当時の会計検査対象の複数の現場では、急傾斜対策として施工されていた「もたれ擁壁」の土圧計算に、「ランキン土圧」と「クーロン土圧」による計算が混在しており、一貫性がありませんでした。このままでは会計検査を乗り切れないと考え、本庁に無理をお願いして予算をいただき、土圧以外にも計算条件がバラバラであった各業務の設計成果の整合を図る業務委託を発注しました。幸い、その業務を受注いただいたコンサルの担当者が非常に熱心な方で、大阪府側の無理な注文にも速やかに対応いただき、無事に会計検査を乗り切ることができました。

茨木土木から異動後しばらくは、「砂防事業」に関わることはありませんでしたが、大阪府退職直前の3年間は、岸和田土木の尾崎出張所で、東川第3支渠砂防堰堤事業に携わりました。その3年間で、進入路の建設から堰堤築造の完了、今年5月末に完成予定の前庭保護工の施工途中まで見届けることができました。

私の「砂防事業」の経験と言っても、茨木土木、岸和田土木でのたかだか6年間と先輩の皆様方にすれば「初心者」同然だと思いますので、入会後は様々な面でご指導を賜れば幸いです。余談ですが、茨木土木時代に会計検査対策の業務を受注いただいたコンサルというのは、私が4月からお世話になっている「㈱スリーエスコンサルタンツ」です。当時業務を担当されていた方はすでに退職されていますが、不思議なご縁を感じているところです。

さらに余談ですが、上記の文章は「CHAT GPT」に文法チェックをしていただきました。皆様、よろしくお願いいたします。